

STOP！ デーティング・バイオレンス・シンポジウム

参加団体の活動紹介

DVを考える若者フォーラム in ちば

わたしたちは、千葉県に住んでいる20代の大学生や社会人を中心として、千葉県の男女共同参画課と共同で、DV問題や暴力のない恋人・パートナー関係を作っていくにはどうすればいいだろう？ということについて、月に1回話しあいや勉強会を開いています。また、1年に1回、わたしたちの話しあいの成果を、シンポジウムとして発表しています。

かえでの虹～多様な性とジェンダーを考える～

2008（平成20）年秋より、東洋英和女学院大学にて公認サークルとして活動しています、かえでの虹です。セクシュアリティに関係なく、誰もが居心地の良い場所をつくりたいと思い、立ち上げました。セクシュアリティやジェンダーについてのディスカッションを行い、校内にて情報提供などを行っています。学院祭では、1年目は「セクシュアルマイノリティ」、2年目は「デートDV」をテーマに、ゲストを招いて講演会を行いました。

LOVE KEY プロジェクト

湘南DVサポートセンターのユースリーダーは、END VIOLENCEプロジェクトを作り、2006（平成18）年から「いじめ防止プログラム」、「デートイング・バイオレンス防止プログラム」の開発を行い、小・中・高・大学でワークショップを実施してきました。

昨年からは、「デートイング・バイオレンス防止」の啓発活動に特化した、LOVE KEYプロジェクトというプロジェクトチームを作り活動しています。LOVE KEYとは、恋人同士が「心の鍵を開く」ことで、互いの思いを尊重しあえる関係を築けるようになればいいなと思ってつけた名前です。若者から若者へどのようなメッセージを伝えればうまく伝わるのか、どのような方法があるのか模索中です。

午後の部

NPO法人 ウィメンズネット青森

2010（平成 22）年は、中学校 6 校、高校、大学各 1 校で開催しています。助成金の申請および使用期間や受け入れ学校の年間行事との兼ね合いで、秋に事業が集中しています。人材確保、人材育成にもお金がかかるため外部資金を得ながら続けています。

ユースリーダーの育成はNPOと大学が協力し合い毎年行っていますが、「卒業」「就職」のため、毎年一から育てあげるといいう手間がかかっています。なかなかNPOの即戦力にはなりません、若い方からいただくアイデアや、共に過ごす空間・時間は何物にも変えがたい大切な宝物です。

NPO法人 かながわ女性会議

- 中間支援団体として、神奈川県内のシェルター/ステップハウス/その他の支援団体を、専任のプログラムオフィサーを配置し、支援している。（企業・財団等から寄付金品を募り、支援団体に配布、支援団体に代わって広報を受け持つなど。）
- 支援団体の経営力強化のためのスタッフ教育講座を開催。
（2010（平成 22）年度は 共同募金の受配金を得て、コンテスト付助成金講座を開催し、助成金ゲットのスキルアップと同時に、賞金として経済支援を果たす。2011（平成 23）年度は 広報力アップをテーマに開催する予定）
- S t o p！デートDVキャンペーンとして、若手ミュージシャンのライブコンサートを行い、広くデートDVについて、あるいは人権侵害の暴力について知ってもらう試み。2010（平成 22）年度：4 回開催
- デートDV に関する知識普及啓発の指導者養成講座開催
- 市町村へ女性相談員を派遣する事業をスタート。育成も手掛ける。

かごしま女性政策研究会（鹿児島純心女子大学学生サークル・S&I）

S & I は、デートDV防止啓発活動として、学校へ出向いて直接生徒対象や教職員・保護者を対象に、あるいは自治体の委託を受けて一般市民を対象に、セミナー等を開催しているほか、自治体や他の民間団体と協力してキャンペーン活動を行っている。中高生対象のセミナーでは、前半が性教育、後半が若い人たちに理解しやすいように手帳サイズに作製した冊子を用いてデートDV防止の啓発を行い、教職員・保護者対象の際は前半を、若者の性行動の低年齢化についての情報提供を行っている。S & I 顧問がかごしま女性政策研究会のメンバーであることもあって、活動について、研究会から支援を受けているほか、研究会の例会で報告を行い、メンバーから助言を得るなど連携を図っている。

一般社団法人みもざの会

DV被害者のみならず、老人虐待、児童虐待、恋人からの暴力、ホームレス、性産業からの逃避女性等あらゆる暴力被害者を受け入れる緊急一時保護のシェルター活動。長期的な被害当事者やお子さんへの自立支援事業「おはなの部屋」（ハワイ語で大きな家族）で居場所づくりと稲作、畑耕作等農業体験作業で心の回復事業の展開。啓発活動としてデートDV、女性への暴力、また、少年院、少女院へ入所の犯罪を犯してしまった若者へ「被害者の視点を取り入れた啓発活動」を定期的外部講師授業として実施。会の目標はスーパーラブ→「無条件の愛を与える活動」です。到達出来ないけどスタッフ一同心に決めて頑張っています。

NPO法人 湘南DVサポートセンター

女性と子どもの人権が侵害されることなく、誰もがその人らしくいきいきと暮らすことのできる社会をめざして1999(平成11)年に設立しました。特に、ドメスティック・バイオレンス、虐待、いじめなどの被害を受けた女性や子どもの支援に力を入れ、アメリカの非営利団体DAPが開発した『暴力を目撃して育った子どもの心のケアプログラム』をカウンセリングやグループワークに取り入れ、被害者支援に取り組んでいます。また、これらの経験から、暴力を未然に防ぐためには若者への教育が重要と考え、2006(平成18)年から、ユースリーダーと一緒に、「いじめ」や「デート・バイオレンス」など、10代の子ども向けプログラムを開発し、小学校・中学校・高等学校・大学で暴力防止教育を行っています。

I&Y(NPO 法人参画プランニング・いわて)

当法人は、2009(平成21)・2010(平成22)年度に文科省から「人権教育推進のための調査研究事業」の委託をうけ、若年層のDV予防啓発事業に取り組んできました。学校現場への出前講座経験を踏まえ、2010(平成22)年度から「ユースリーダー育成講座」を開催し、2年間で32名のユースリーダーが誕生しました。ユースリーダーは、昨年度、1学級単位での講座プログラムを、今年度は1学年以上を単位とする講座プログラムを作成して、中学校出前講座を実施してきました。「I & Y」は、ユースリーダーが名付けたグループ名で、I・I W A T EとYOU・YOUTHを表します。

中学校出前講座では、講師として、また「おにいさん、おねえさん」役としても大人気を博しています。「ヒューマンフェスタ2010in もりおか」(2010年9月)では、岩手県内外で中高生の人権教育指導にあたられる方にプログラムを披露しました。

NPO法人さんかくナビ

女性の自立を目指して設立してから8年、DV被害者の支援の為の民間シェルターの運営、アドボケートを主に取組んできた。また、DV被害当事者が心身共に回復に向うために自立支援プログラムの実施、DVの環境の中で置き去りにされて来た子どもの回復プログラムの一つ、学習支援プログラムの実施などを様々な人に関わって頂いて進めている。

その活動の中で繋がってきたデートDV被害者への支援がきっかけになって、国内では早い時期に「デートDV防止プロジェクト・おかやま」を専門的なメンバーを中心に発足させた。2006(平成18)年度、内閣府の「地域における女性に対する暴力の予防啓発に関する調査研究」を岡山県が受託し、その一部分をプロジェクトが受け持ち、実態の把握と共に若者が気軽に相談でき、ピアな関係の中で解決ができるのではと「恋する二人の掲示板」を開設して目的を達成できている。

NPO 法人 DV 防止ながさき

2002(平成14)年の設立以来、DV当事者の相談、支援活動、啓発活動をすすめてきましたが、若い世代への予防教育が大切と痛感し、6年前から予防教育に取り組んでいます。大学生、高校生とすすめてきて、今は中学3年が一番効果的だと感じています。離島の多い長崎県全域で300回以上の授業を行い、ほぼ8割の高校で実施でき、中高合わせて5万人の生徒たちへ予防教育を届けてきました。2010(平成22)年度からは、長崎県から予防教育の人材育成事業の委託も受け、地域でのネットワーク作りにも取り組んできています。教師、保健福祉関係者など地域のさまざまな職種のネットワークを深め、有効な支援につなげていきたいと試行錯誤を続けています。